

第2回県有施設等耐震検討チーム会議 議事概要

日 時：平成31年4月23日（火）10:00～10:50

場 所：第一会議室（東）（県庁5階）

出席者：チーム員29名

総務部長、総務部次長、まちづくり推進局次長（建築担当）、防災統括室長、法務文書課長、財政課長、管財課長、建築安全推進課長、県有施設営繕課長、行政経営・ファシリティマネジメント課長、19施設所管課長

議事要旨

- ・ 県有施設等の耐震検討状況について
- ・ 専門家意見聴取施設の概要と対応案について
- ・ 未診断施設の対応について

○主な意見

- ・ 登美学園中軽度棟についてはコンクリート強度調査を行うが、コンクリート強度が無かった場合、使用停止にするかどうかの検討が必要になる。
- ・ 施設を使用しながら工事を行う場合、リスク管理について充分打ち合わせのうえ、工事を実施すべきである。
- ・ 特に、奈良県立医科大学及び附属病院については、様々な利用者があるので、リスク管理を一層徹底する必要がある。
- ・ 中央卸売市場の高架水槽について、常時人がおらず耐震診断を行わないということだが、本当に危険性がないか、再確認したうえで判断した方がよい。

○チームリーダー総括

- ・ 本日の対象施設は、耐震性能的に、よりプライオリティが高いものが中心となっているので、そのことを認識した上で取り組むこと。
- ・ それぞれの施設によって、建物の耐震性能と取組の進捗状況との2つの軸がある。前者に関し、奈良県立医科大学・附属病院等については特にしっかり対応願いたい。
- ・ あくまでI s値0.6以上の耐震性能を確保したことで、耐震化したことになる。耐震化率は95%以上を目標としているが、現在90%である。目標達成に向けて、単に応急補修で良しとするのではなく、最終的な耐震改修等に、引き続き取り組んでほしい。

以上